

HUGコミ

第13号
2010年6月

HUGこどもパートナーズ（東村山市秋津町）／FAX:042-397-1024／E-Mail hug-partners@jcom.home.ne.jp／URL http://

HUGこどもパートナーズの活動紹介・その13

「トコトコ通信」の発行、編集室の運営

「子育て楽しんでる？」を合い言葉に、ママからママに向け毎月発行している子育て情報誌が「トコトコ通信」です！



■経緯 ■「トコトコ通信」は、毎月発行の子育て情報誌。創刊は2002年。市内に住む先輩ママたちのグループ「トコトコ・ワールド」さんが7年間発行してきましたが、卒業することに。東村山にはなくてはならない情報誌に成長した活動を絶やさない方法はないのか…そこで、2009年4月から制作・発行をHUGで引き継ぎました。

■体制 ■現在、「トコトコ通信編集室」は、10人ほどのママたちで活動中。情報誌作成講座を開催してスタートしました。編集会議には保育スタッフを配置、印刷日には「HUGサロントコトコ」も同時開催するなどのサポート体制をとっています。

■連携・支援 ■「ころころの森」の支援を受け印刷場所の確保と増刷を行ってもらっています。児童館やおひさま広場への配布については東村山市の子ども育成課にお願いしています。

また、市内のNPO活動団体さんに協賛していただき、活動を継続してきました。2009年度に引き続き2010年度も東村山市社会福祉協議会の地域福祉活動助成を受けています。

パソコンの電源の入れ方もわからず、文を書くのも苦手だった私が、今「トコトコ通信」の作成にかかわっていると信じられません。自分の子育てに役立ったトコトコ通信が、たくさんの方に渡り子育てが楽しくなれば……という思いで、作り続けています（おかげで、パソコンも文を書くのもうまくなりました）。

“無理なくいこう！”が私たちのスタイル。「こんな記事を書きたい」「あんな情報が知りたい」などの声から原稿づくりが始まり、やれることから少しずつ分担し、ちよこつとの力が集まって原稿ができあがります。そして、印刷、折り込み、配布されてみなさんの元に。毎月発行の度に「今月も出せた～」とほっとします。編集メンバー、保育スタッフの方々、そして、家族、その他たくさんの方々にいつも感謝しています。

これからも、たくさんの方にトコトコ通信を届けたいと思っています。月末に「ころころの森」で印刷などの作業をしています。サロンになっているので、お子さん連れでどなたでも大歓迎。

ぜひ、みなさんのちよこつとの力をかしてください。（編集長 H.K）

印刷日などの情報はブログを見てね！
<http://news.ap.teacup.com/tokotoko>

2010年度

親子サロン

親子サロンは乳幼児を連れて気軽に遊びに来られる場所です。スタッフが待っていますので、気軽にお立ち寄りください。親子サロンは、いつ来てもいつ帰っても自由です。



HUGサロントコトコ

- ◆毎月最終水曜日 10:00～12:00
- ◆ころころの森 協力:ころころの森 社会福祉協議会

「トコトコ通信」の印刷日。お手伝いしながらおしゃべりしましょう！

HUGサロン ぽっと

- ◆毎月第2/4火曜日 10:30～12:30
- ◆いきいきプラザ2F 健診室 共催:東村山市子育て支援課

HUGサロン ぷらっと

- ◆毎週月曜日 10:00～12:00
- ◆いきいきプラザ1Fロビー 協力:東村山市子ども総務課

子育て広場 ハトの家

- ◆毎月第2/4金曜日 10:00～12:00
- ◆ハトホーム1F和室 (富士見町2-26-1/ハトホーム内) 両主催:子育て広場 きらら ※駐車場はありません。

ぼれぼれ広場

- ◆毎週木曜日 11:00～15:00
- ◆白十字ホーム1F会議室 主催:ぼれぼれ広場実行委員会 ※駐車場はありません。

ぷくぷく外遊びサロンのほら

- ◆毎週木曜日(3～5月・9～11月のみ) 10:00～12:00
- ◆北山公園 あずま屋の前集合
- ◆持ち物:水分・タオル・着替え ※雨の場合はありません。 ※駐車場はありません ※連絡先 090-9158-0188(奥)

月齢別ベビープログラム

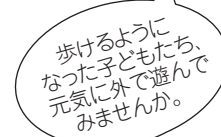
あやし歌講座とおしゃべりタイムのプログラムです ※お問い合わせ 090-7849-1861(平沼)

2カ月の赤ちゃん和妈妈のおしゃべりTime

日時:毎月1回 10:20～12:00(受付10:00)
対象:2～4カ月の赤ちゃん和妈妈
会場:いきいきプラザ2階健診室
共催:東村山市子育て支援課

5カ月の赤ちゃん和妈妈のおしゃべりTime

日時:毎月1回 10:20～12:00(受付10:00)
対象:5～7カ月の赤ちゃん和妈妈
会場:ころころの森
主催:東村山市子育て総合支援センター ころころの森



ホームページ引っ越しました。

<http://members3.jcom.home.ne.jp/hug-partners/>

雑誌情報 ■大幅に発行が遅れた「HUGコミ」の反響をいただいた前号「コミ特集」から、約半年ぶりにお目にかかります。■5月30日に22年度総会を無事に終え、本格的に今年度の活動を開始しているHUGです。■新しい事業をいくつか。一つ目は「5カ月の赤ちゃん和妈妈のおしゃべりタイム」。4年目になる「2カ月の赤ちゃん和妈妈」の共催事業の「アフタープログラム」として念願だった事業が、ころころの森主催で実現。好評です。■二つ目は「協働を学ぶ会」。市内の子どもNPO「すずめ」さんと「東村山子ども劇場」さんと共に立ち上げました。市民と行政がよりよい協働関係を作っていくために、まずは学ぶところから始めました。■今年も公民館との協働事業「赤ちゃん和妈妈のためのわらわらた&おしゃべりタイム」を2館で開催します。6回連続講座で富士見では現在開催中。11月には秋津で開催します。問い合わせは公民館まで。■5月9日は青葉小での子どもまつりに参加。HUGはいつもの焼き菓子と新メニューのフレンチトーストそして「駄菓子屋よるべ」を出店。「子どもく」ともに完売しました。夏のような暑さのなか来てくれた皆さんに感謝です。■HUGもシェア団体だった「コミュニティスペースよるべ」は3月末で4年間の活動を終了しました。応援くださった皆様ありがとうございました。■次号は秋に発行予定です。今度は必ず！

2010年度もよろしくお祈りします!



menu 1 ママスタディ

→月2回(曜日・時間未定)
食育講座や子育て相談、おもちゃ作りなど子育てに役立つ楽しい講座を企画しています。

menu 2 ぷくぷくカフェ

→第3金曜日
手づくりお菓子とお茶でホッとひと息つきながら、おしゃべりしましょう。

menu 3 ベビーサロン

→第2・4週 火曜日 13:30~15:30
大きい子と一緒にちょっと心配な0歳の赤ちゃん向けサロンです(抜けるようになったら卒業です)。

menu 4 パパサロン

→第2・4土曜日
パパたち集まれ! メーリングリストによるパパサークルもあります。

menu 5 絵本ひろば

→第2月曜日
地域のボランティアさんによる絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなど。

menu 6 わらべうたタイム

→第2・4週 水曜日 15:00~15:30
0歳児対象。わらべうたで赤ちゃんとお遊ばししよう。

OPEN

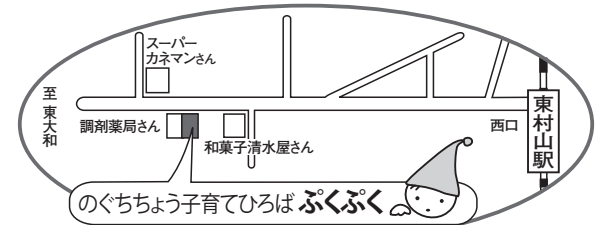
月~土曜日 10:00~16:00
※日曜・祝日は休み ※無料

ランチタイム

12:00~13:00
持参のお弁当が食べられます

カフェコーナー(実費)

ホッとひと息!
育児の疲れを忘れましょう



東村山市野口町2-4-36 TEL 393-4181
※駐車場はありません

<http://plaza.rakuten.co.jp/noguchihiroba/>

ま・ち・こ・ら・む・9

わたしたちの住むまちは...

公園ボランティア10年

久米川町 橋本久男さん

(聞き手) 平沼美春

近くの公園の木を剪定していた橋本さんとひよんなことから言葉交わしたのは、ほんの数カ月前。市役所の職員でも業者の人でもなく、なんとボランティアだということから驚いた。10年近くボランティアで市内の公園の木々を剪定しているそうだ。私が子どもと遊びに行った公園や、以前HUGで行った「公園調査」で訪れた公園もあった。「この人がきれいにしてくれていたんだ」という驚きとありがたさがどんどんわいてきて、改めてお話をうかがえるようお願いした。

市の「公園ボランティア」に登録したのは10年前。昭和29年に久米川町に転入し、人並みの暮らしはできていたし、60歳くらいまで元気いられたら、あとの人生は「もうっけ」だと思っていた。だから、妻が高齢者と一緒にお茶を飲んだり歌を歌ったりするボランティアをしているのを見ていて、町のために何か自分にできることは、と考えていた。造園業の技術を生かそうと、市役所に「公園ボランティア」として手

伝いたい」と申し出ると、「個人で車を出してはしごを運び込み、本格的に剪定をしてくれるようなケースは前例がない」と、活動の了承まではかなり時間がかかった。それまで「公園ボランティア」は公園の近所に住む人が整備をお手伝いするという様子だったし、公園課は車を持っていないので、剪定した木をどう処理するかも問題になった。うだ。それから何度も市役所に通い、しばらくして道路交通課の維持補修係で対応することが決まった。そして、10、11月の2カ月だけ仕事をし、あとの10カ月は公園を回る生活が始まった。

1年に2回行くところも含め、年間70カ所くらいは公園の木々の剪定をしてきた。北山公園の剪定は1年半くらいかかった。よかれと思っても公園の木は勝手に切つてはいけないので、それを市とやり取りするのが手数だ。子どもの姿が隠れてしまわない高さに剪定するなど、安全面にも気を遣い、それを市にも助言してきた。市の職員に剪定方法を教えることもあった。すると公園の木を見本を造ってほしいと頼まれたりもした。

活動中にはいろんな人との出会いもあった。萩山の公園では、近所の人「公園に咲くめずらしい花を守りたい」と言うので、作り方を教えるながら垣根と一緒に作った。青葉



町の公園では、必ず家から出て来て、話をしながらそばで草取りをしてくれるおばあさんがいた。出てこない時は自分から声をかけた。おばあさんの家の庭の手入れもしてあげた。今はディサービスに行っていて会えなくなっただけ。秋津では、1、2歳くらいの子どもを連れて韓国人の方と知り合った。「この公園が好き」と言っていた。その子は見よう見まねで作業を手伝うようになり、とても上手だった。

反対に、嫌なこともたくさんあった。活動中、数人がやって来て、「さるすべりの花が見たいから切らないでほしい」と言われた。自分も咲く間際には切りたくない。でも公園は市内に150カ所くらいあり、それぞれ木々にとってよい時に業者を入れる予算はないし、自分もたくさん公園をボランティアで回っているのだから、この木のためだけに時期を見て来ることは難しいと説明したが、理解してもらえなかった。そういうことは他にも何度もあった。「いくらもうっているのか」と言わ

れることもあり悲しかった。

犬を放したり、ふんを持ち帰らない人もいて、注意しても聞かない人も多くいた。草むらに隠すようにあったふんに気付かず、草を刈る機械にまきこんでしまい、体中に飛んできたときは辛かった。帰宅後には道具の手入れをした。そういうことをずっと一人でやってきた。最後に、仕事だったらどのくらいの費用になるかと思うこともあった。そんなことを計算してもしょうがないが、そんなふうに自分がどのくらい貢献したか考えてがんばった。

公園ボランティアを始めて5月でちょうど10年。この間、課長も係長も4、5人変わった。10年は長いと思う。これを区切りとして活動はやめ、少しのんびりしたいと思っている。公園を利用する人や近所の人があまくままとまって、みんなで大切に使おうと思ってくれたらとてもうれしい。

1日だけ橋本さんの作業を手伝った。まだ冬で足や手の先が冷たくて痛いし、手入れされたハサミは切れはいいが、重くて5分腕が痛くなった。こんな作業を1日数時間、1人で続けてこられたこと、またそれに気付かなかったことを申し訳なく思った。橋本さんがボランティアを終えた後、この公園はどうなるのか...。何か私ができることを考えたい。みんなが少しずつお互いの立場を気遣う、そんなことが「まちづくり」の第一歩だと思う。